



藤見泰高

寒さから護るために仕事部屋に避難 させた食虫植物の壺の中に住んでいる クモの幼体を発見っ! 「こんな危険な 場所で?」と思いながらも観察中~♪



廣瀬周

去年の秋、道端でカマキリが日光浴 をしていました。2、3日同じところにいた のですが、アイツの中にもハリガネムシ がいたのでしょうか。去年の数少ない虫 の思い出です。



第26話 片

第27話

第28話

マンガクロス2021年9月~2022年1月掲載 https://mangacross.jp

> ※この作品はフィクションです。 実在の個人・団体・事件等には一切関係ありません。



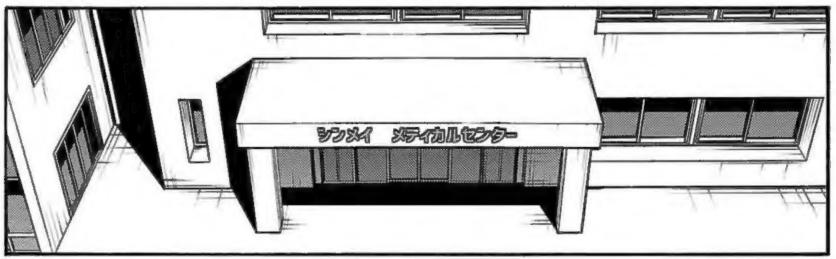
今までのお話

修学旅行中に旅客機が墜落し、孤島に漂着した織部睦美。だが島は巨 大昆虫によって支配されていた。仲間たちや海上保安庁の識森涼子ら と共に、島からの脱出に成功するが、ようやくたどり着いた辰野神島も また別の巨蟲の巣窟となっていた。島の仲間たちの協力で辰野大島へ と到着するのだが!?

79







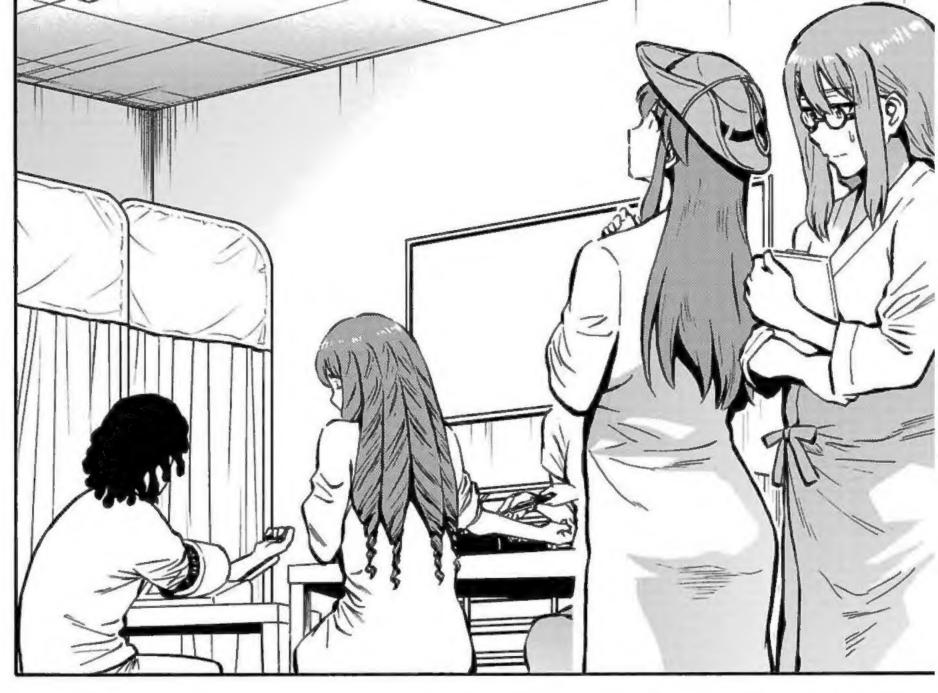


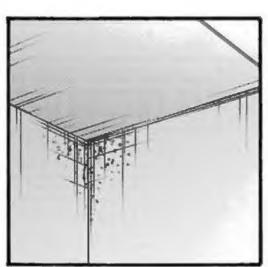












































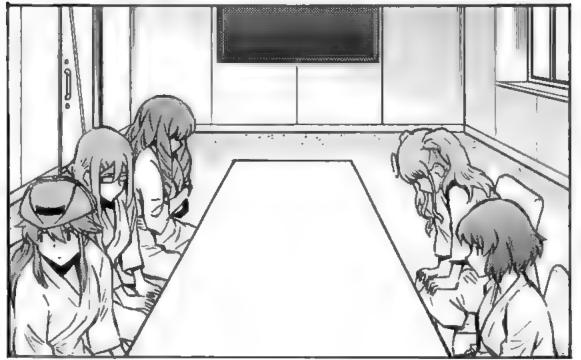
























































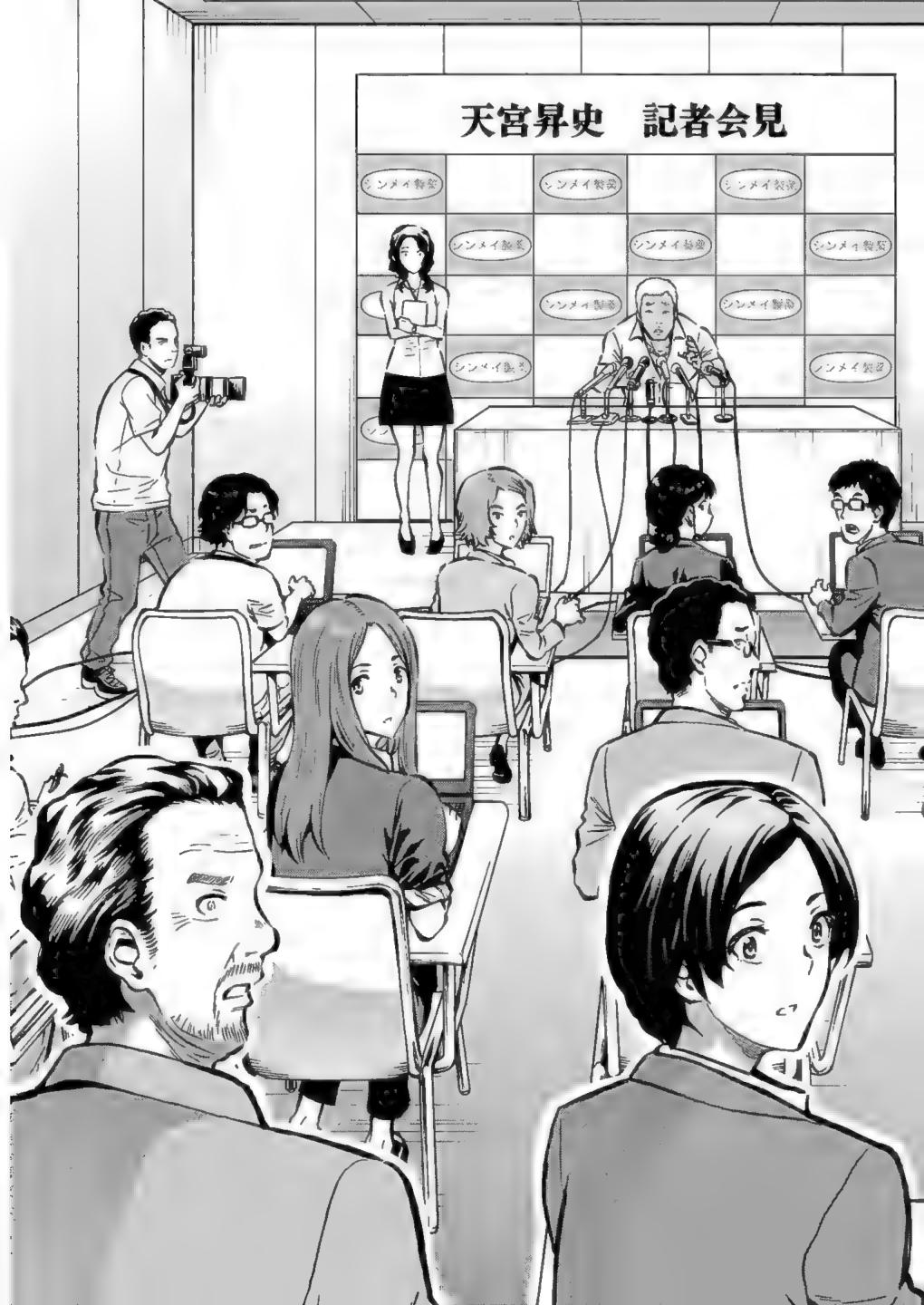


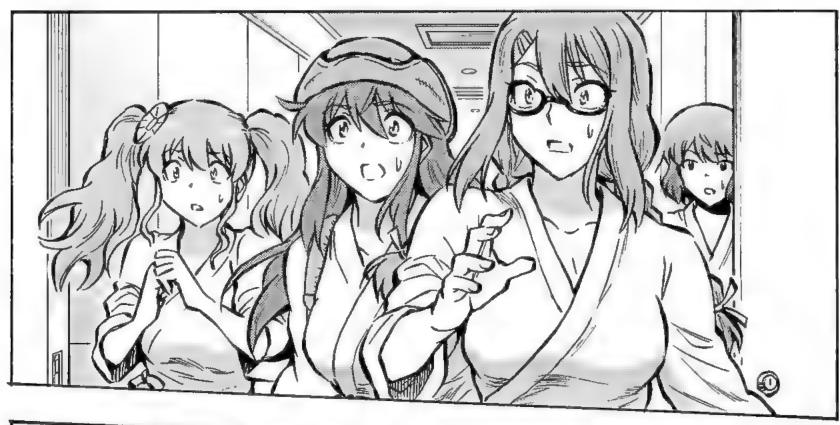














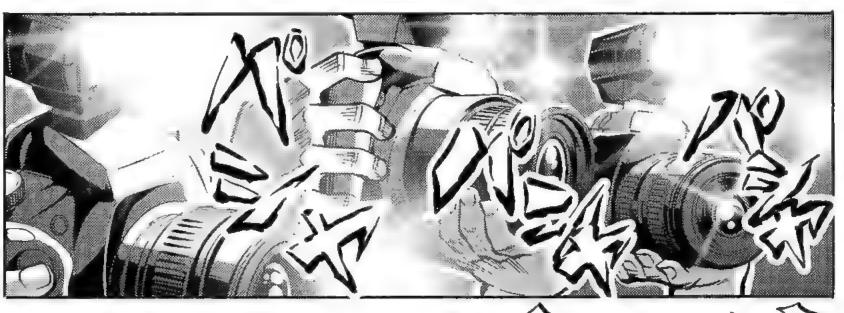




























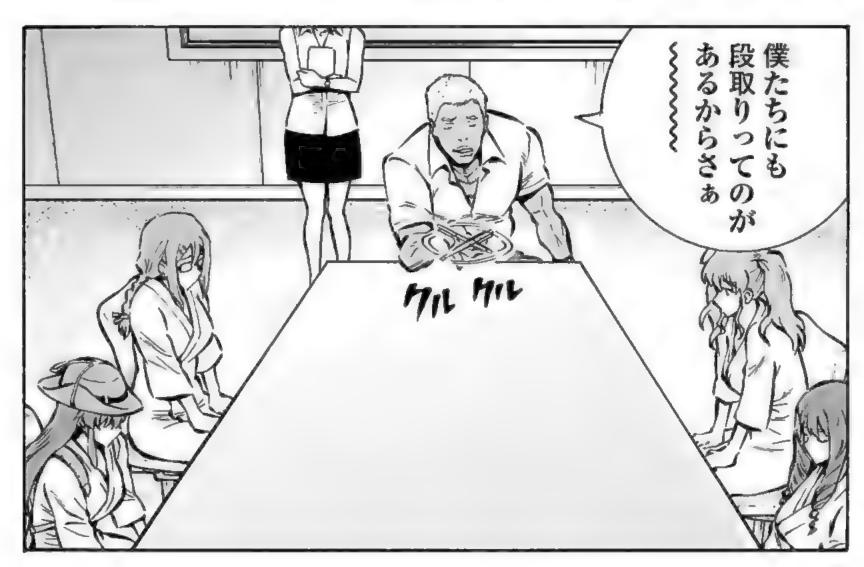






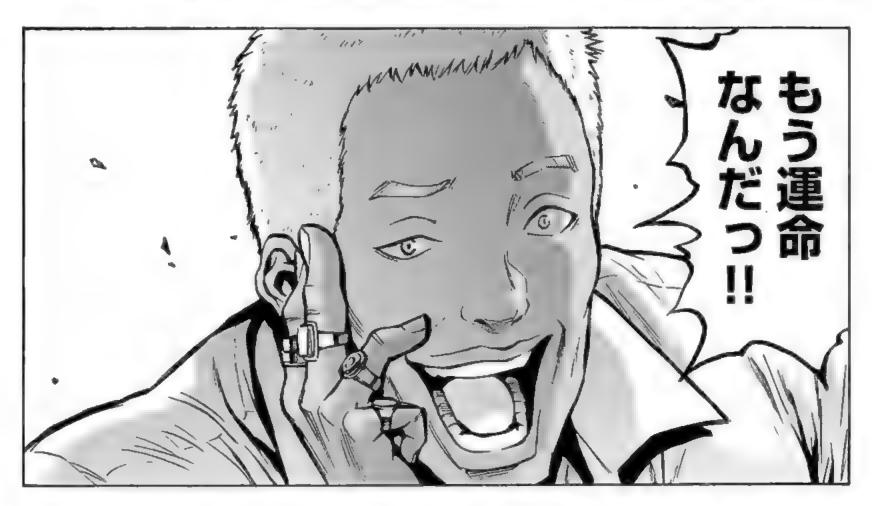




















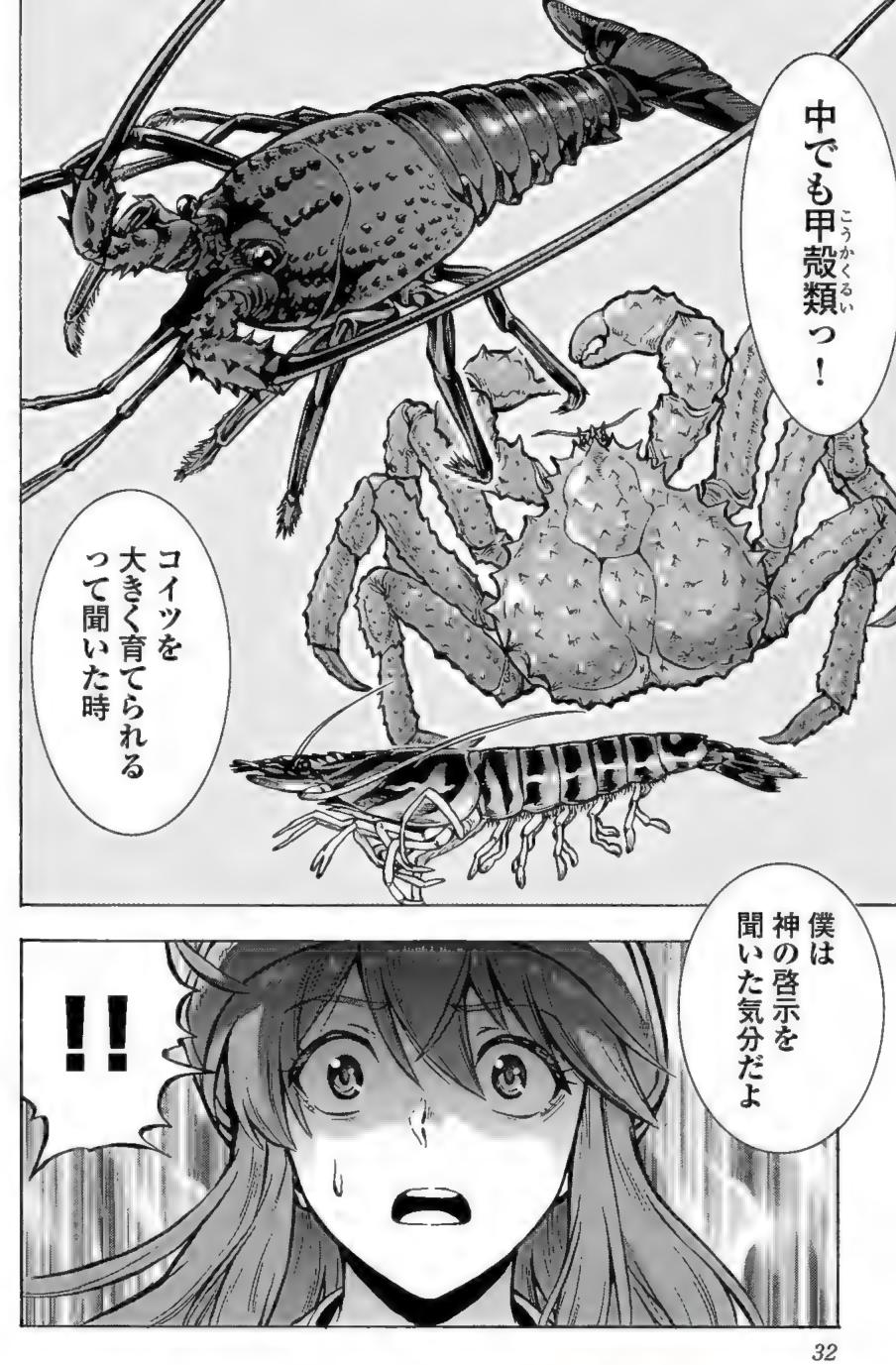


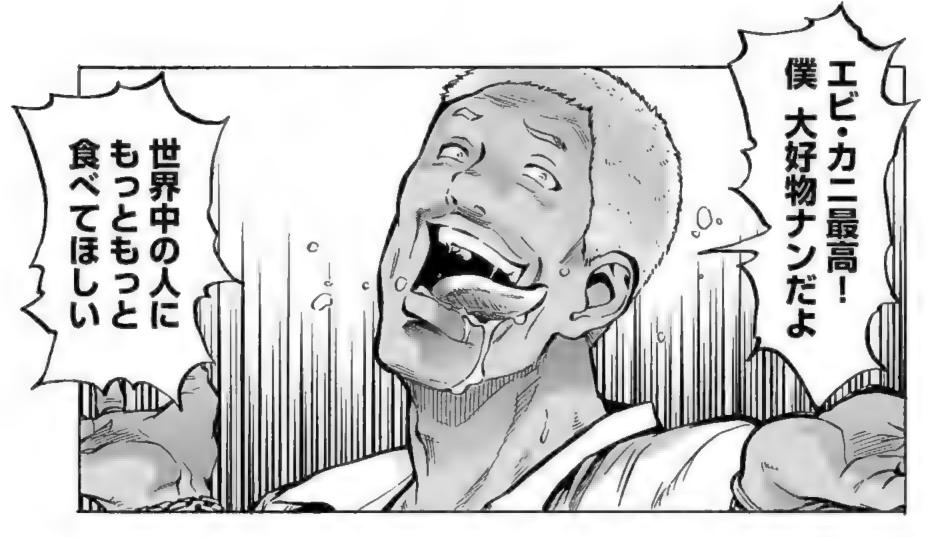


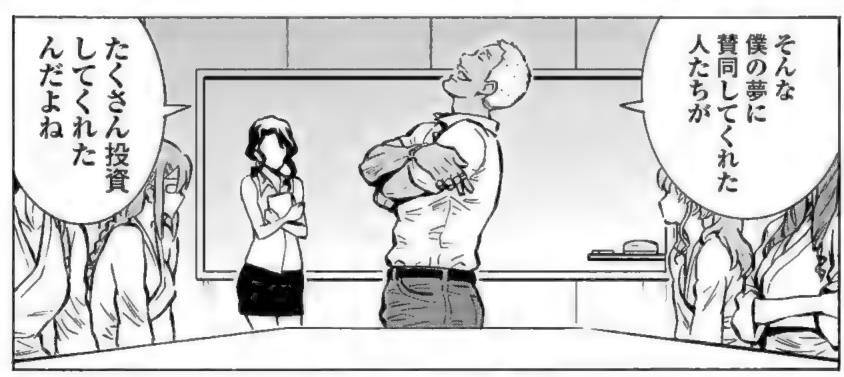








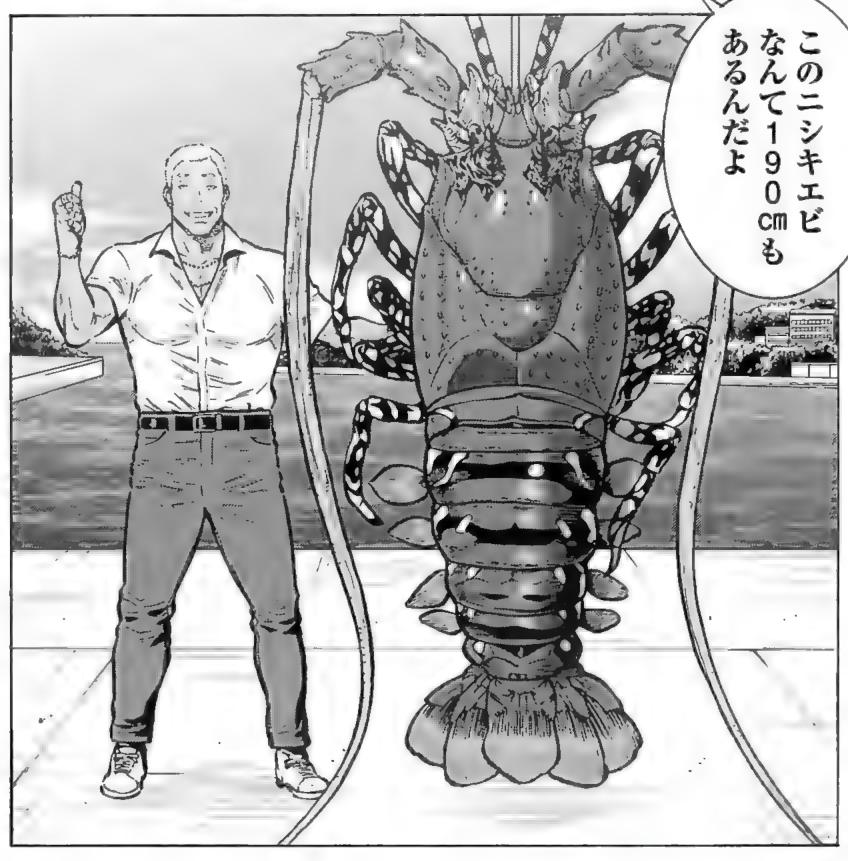








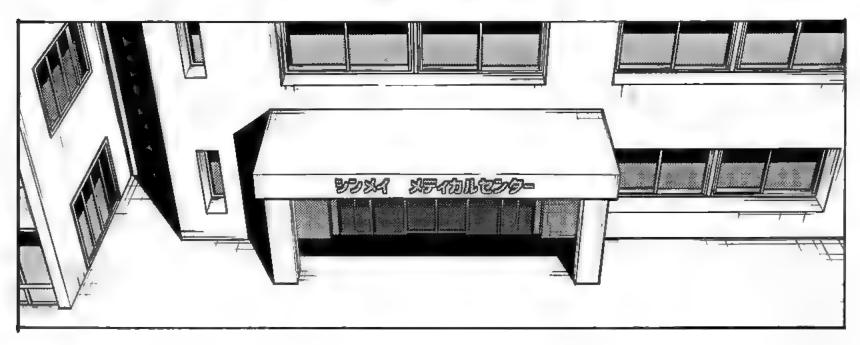








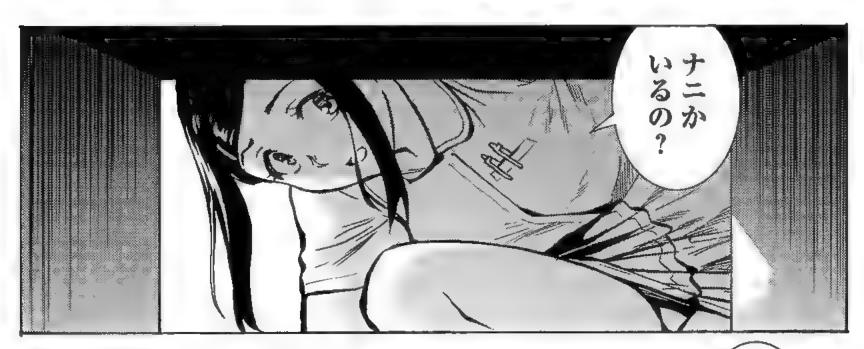




































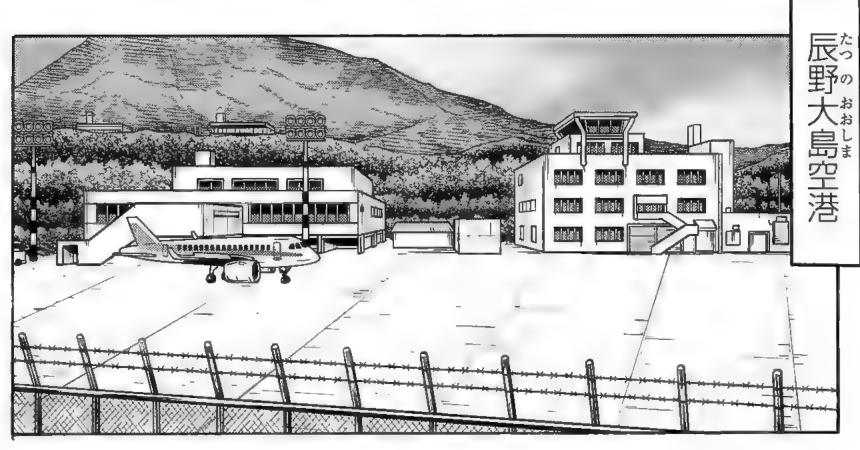




























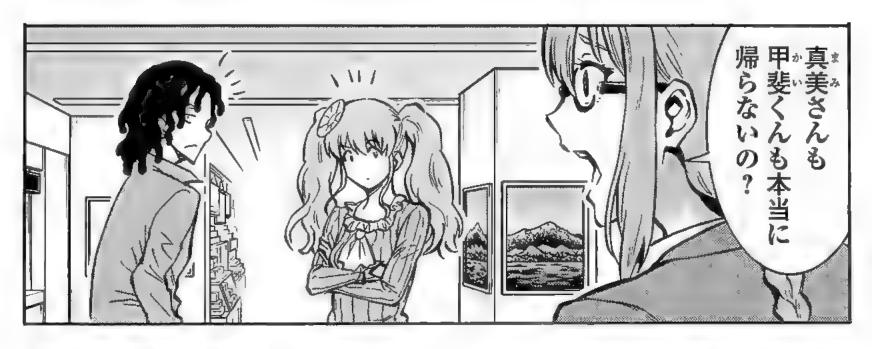


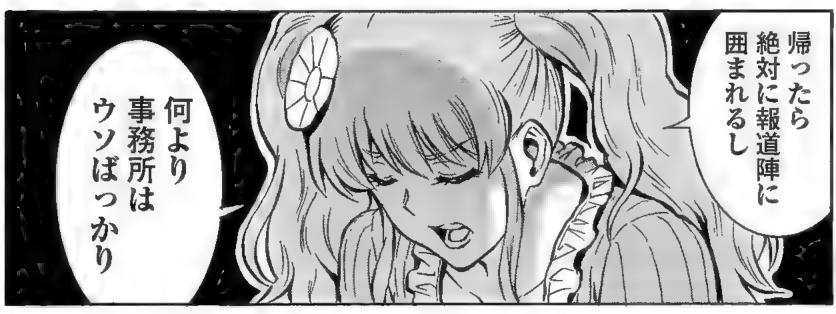








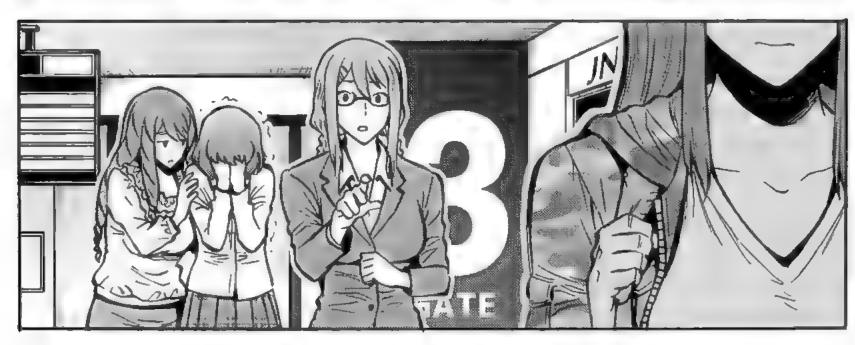
















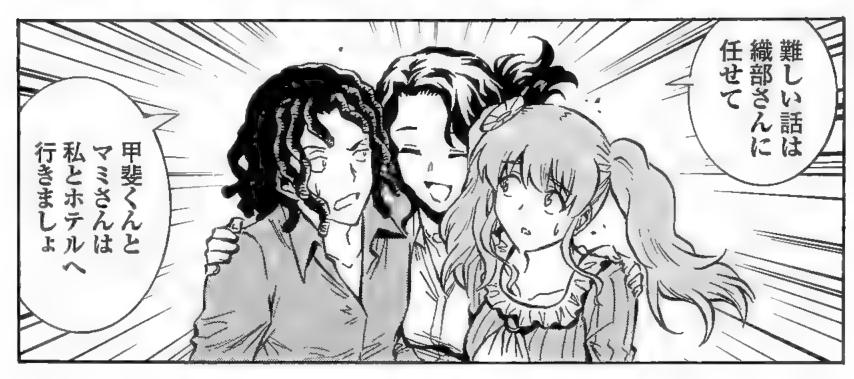


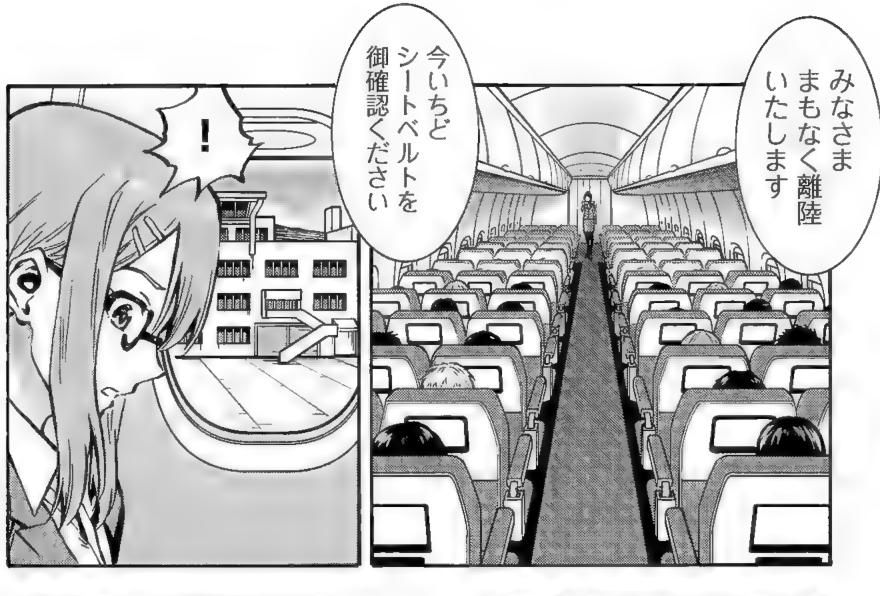


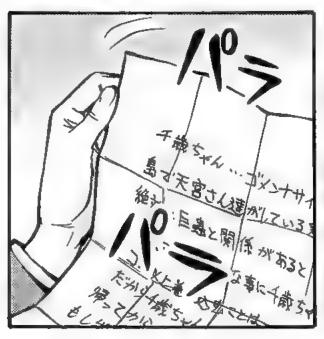






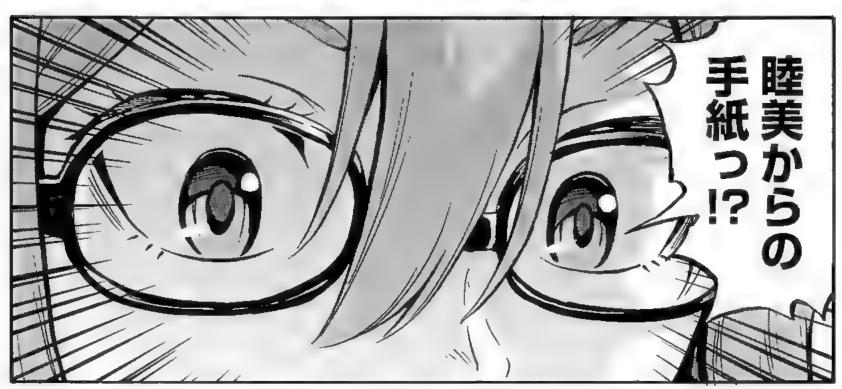






















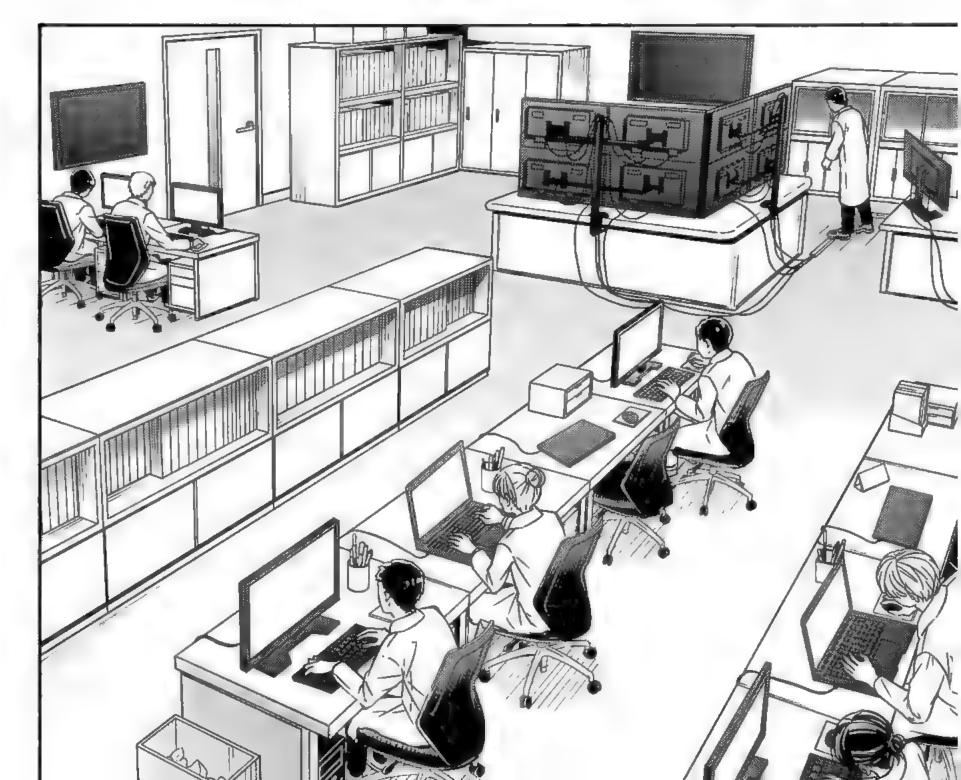




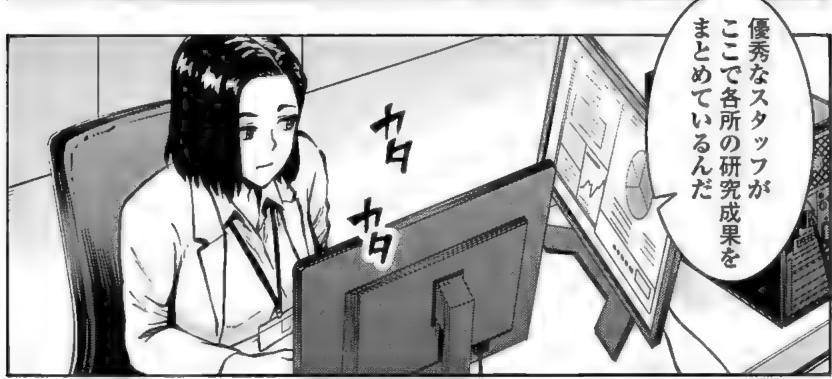








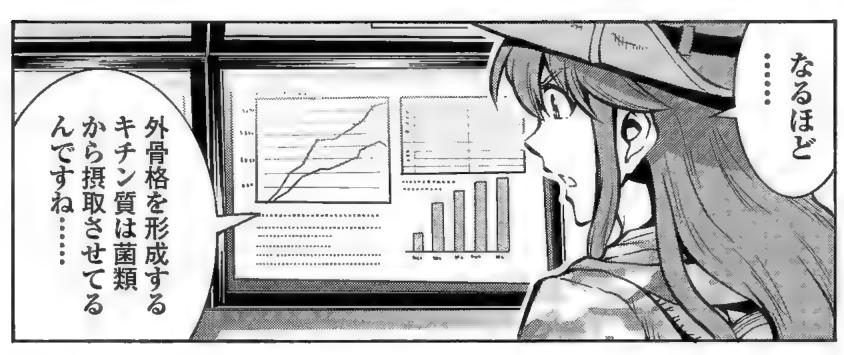






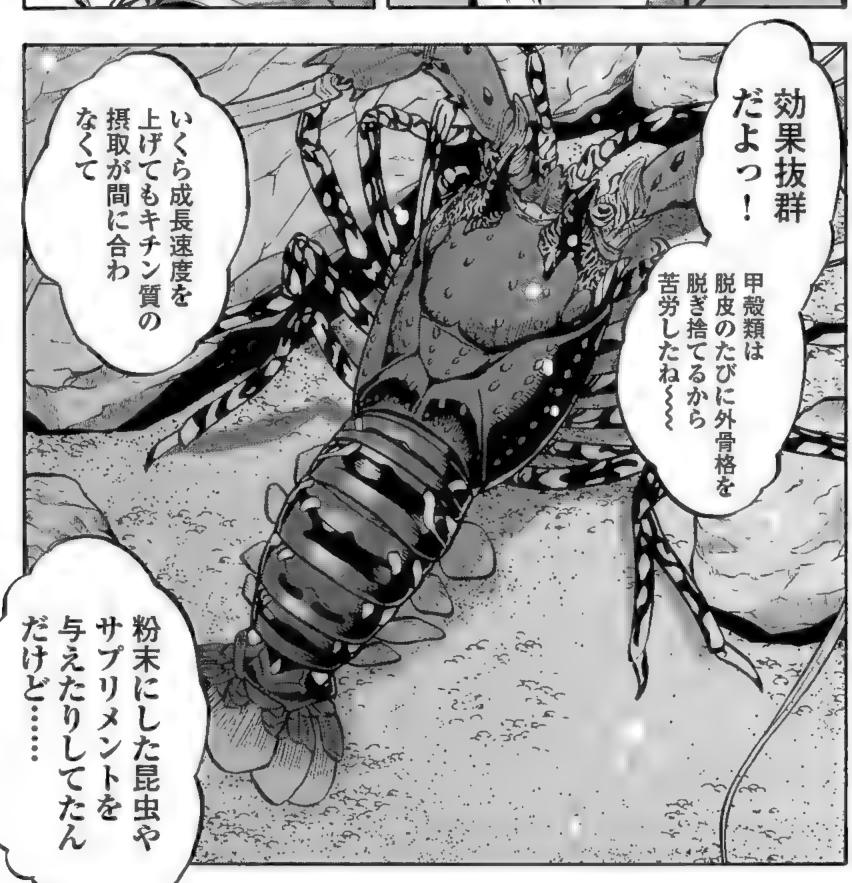










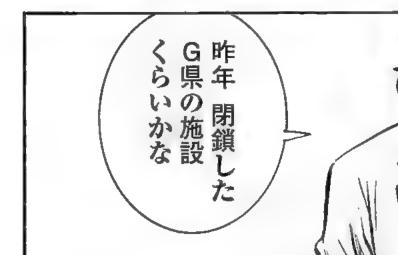






島以外では

話した・・・









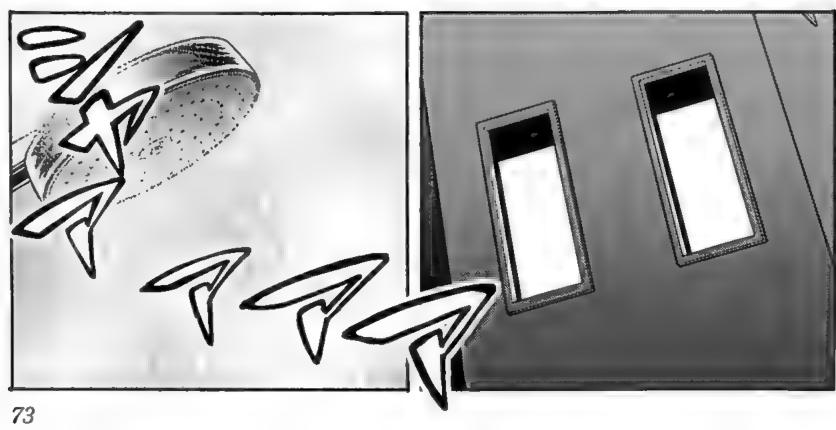




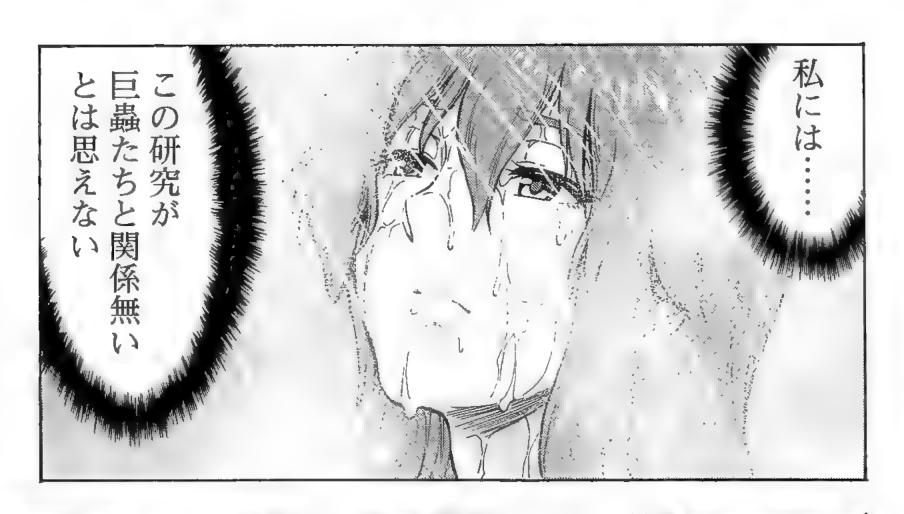




















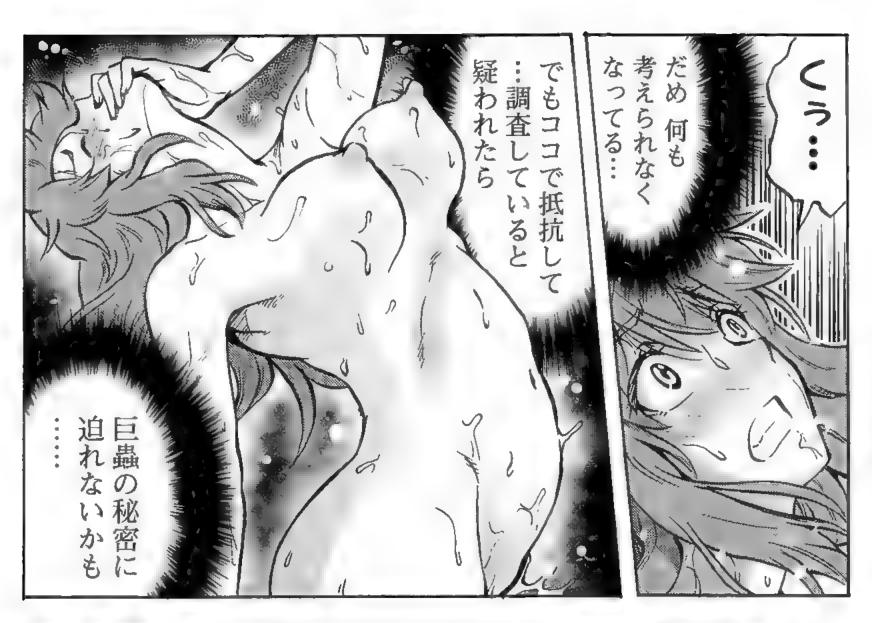








ああっあつ・・・ アタシ みんなに のよお♪ ほおくらって





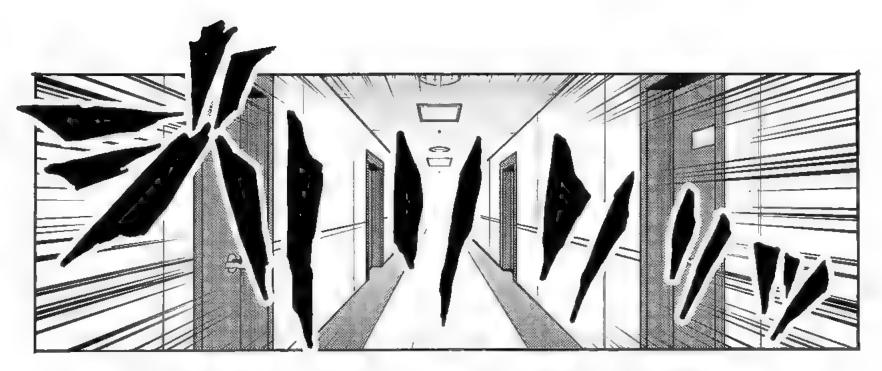
















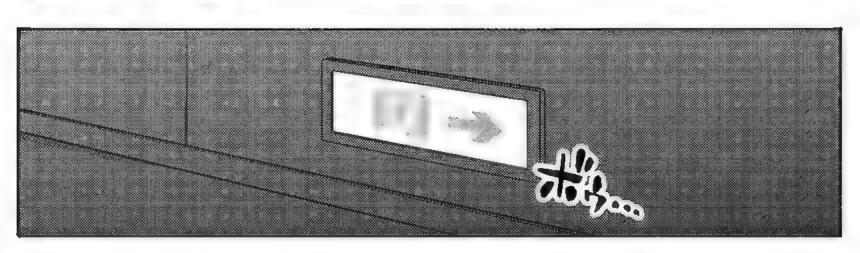






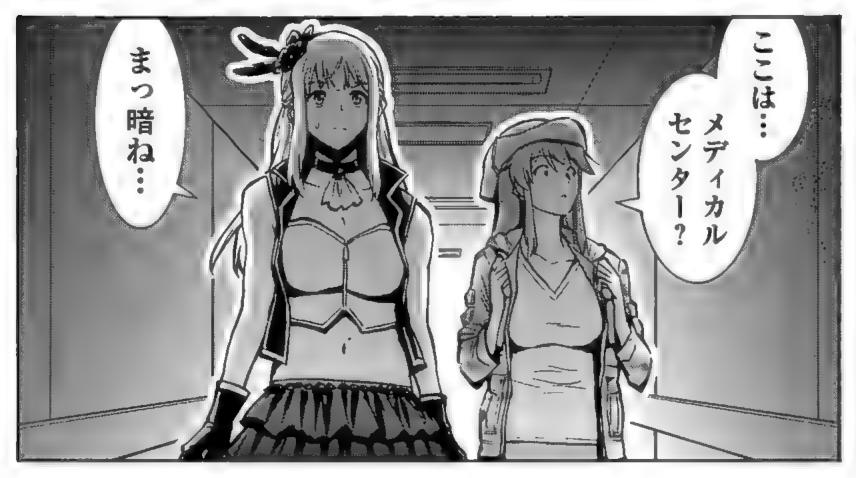




































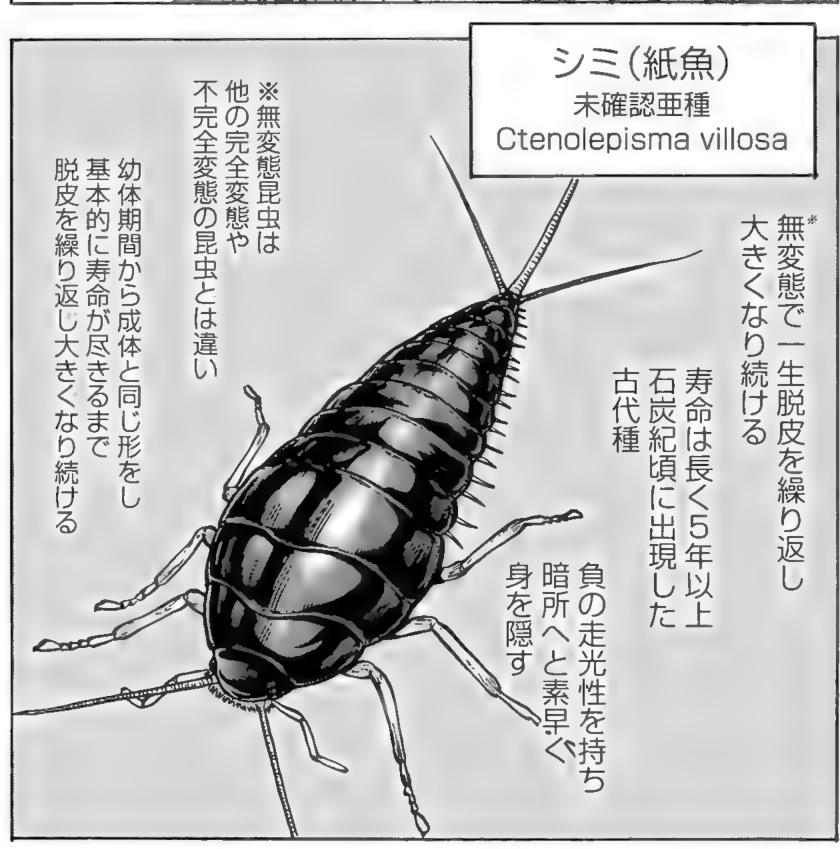








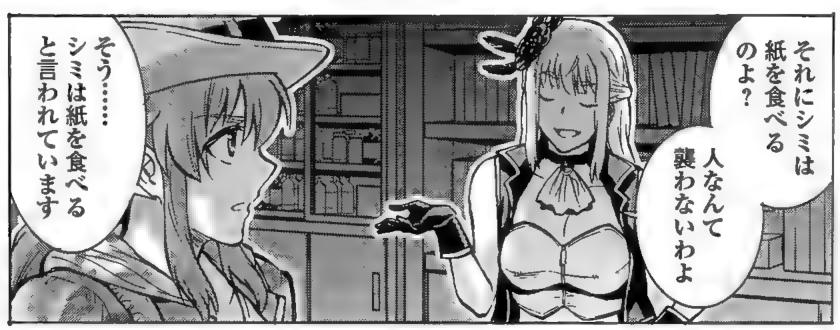






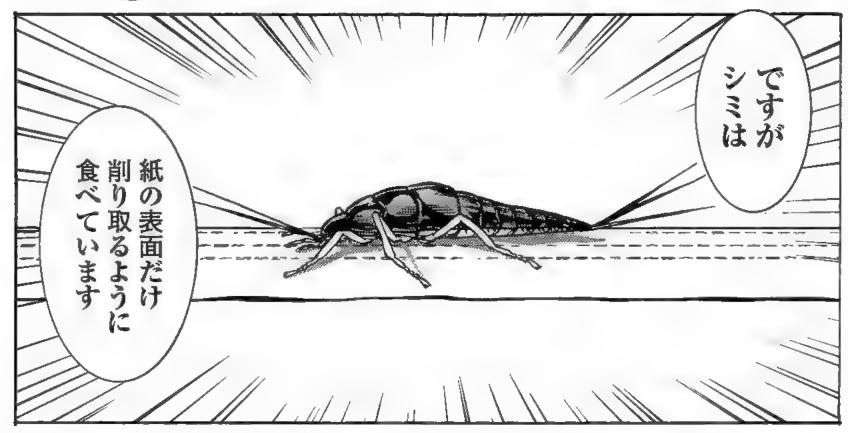
















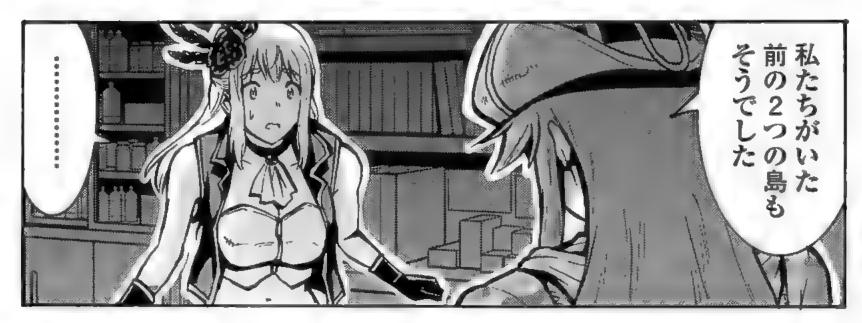






※排泄物に鉄分が多く含まれているため赤黒くなる









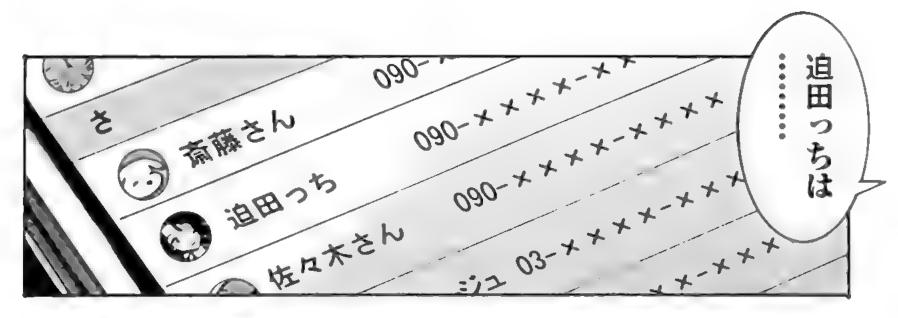


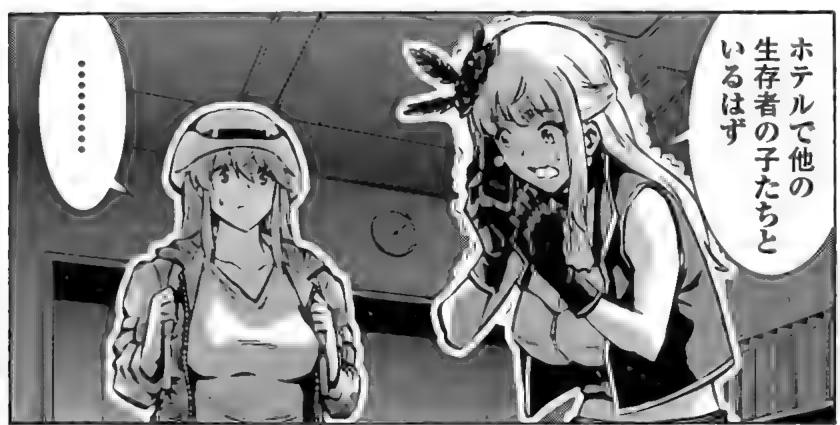




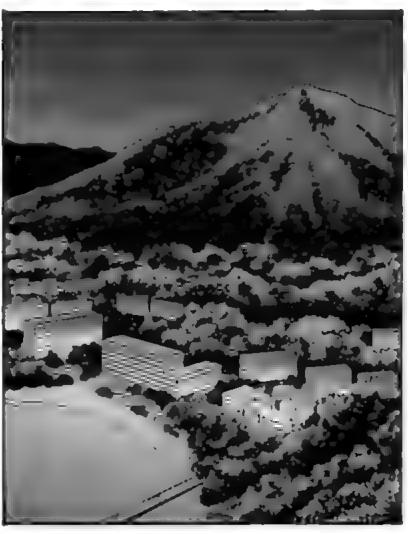




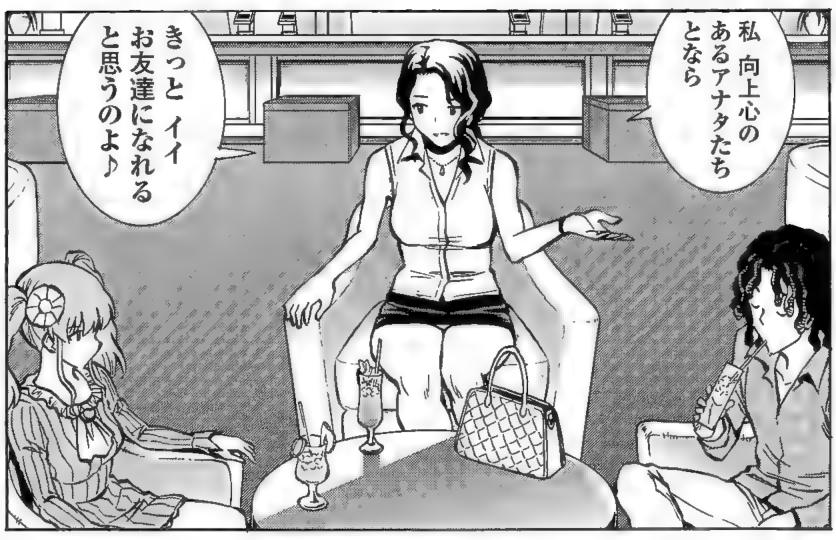
















































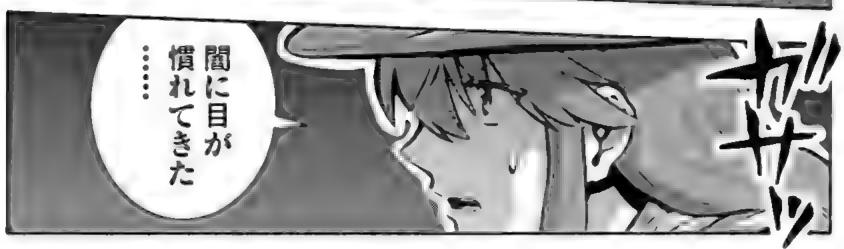














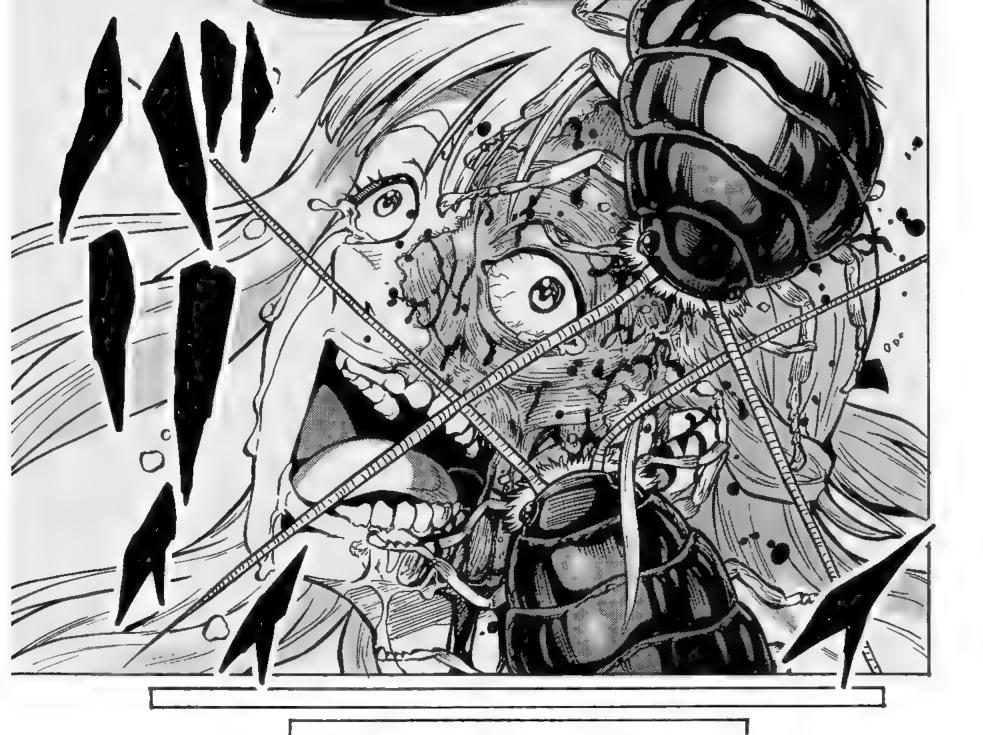










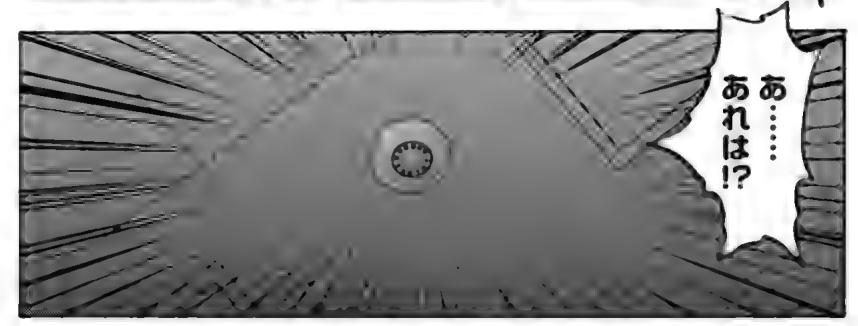




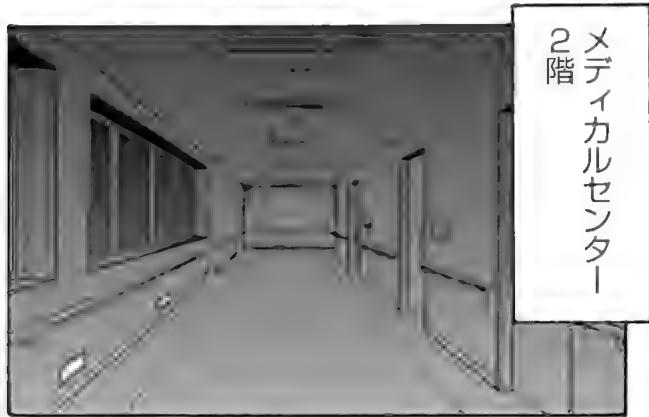


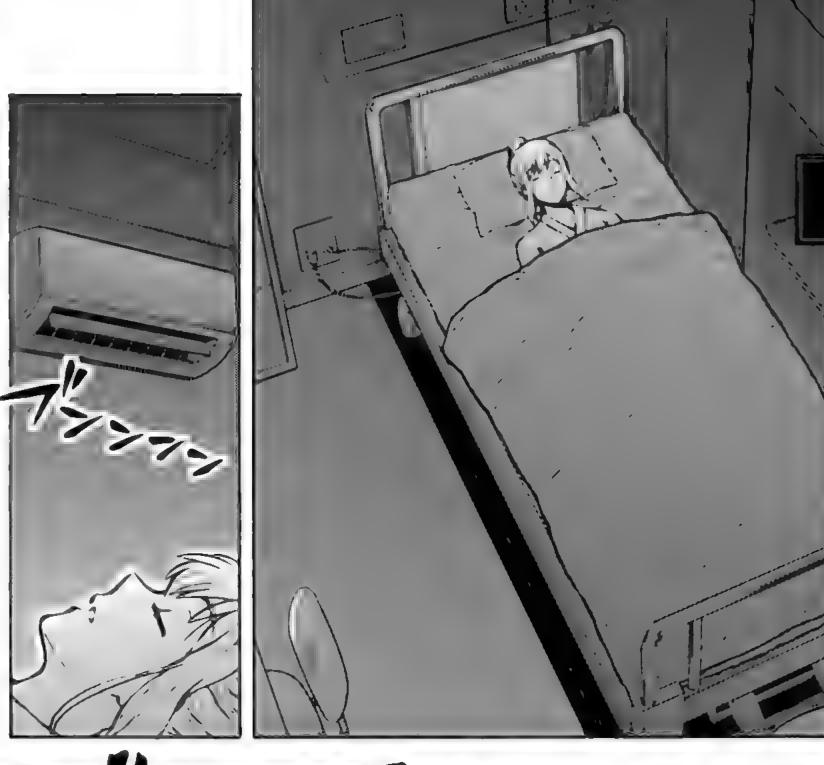












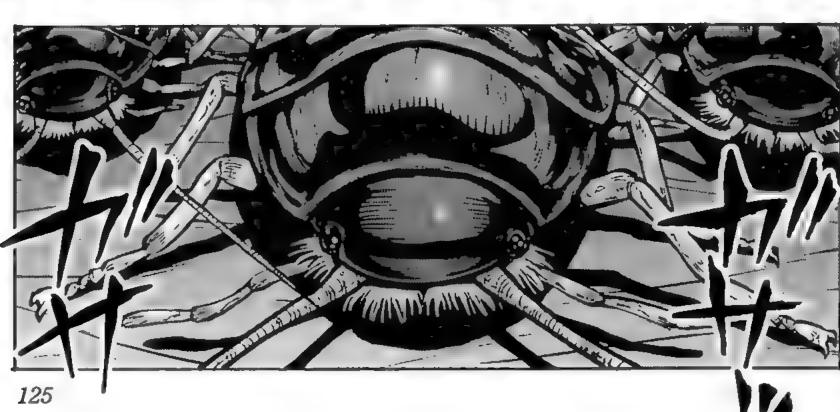




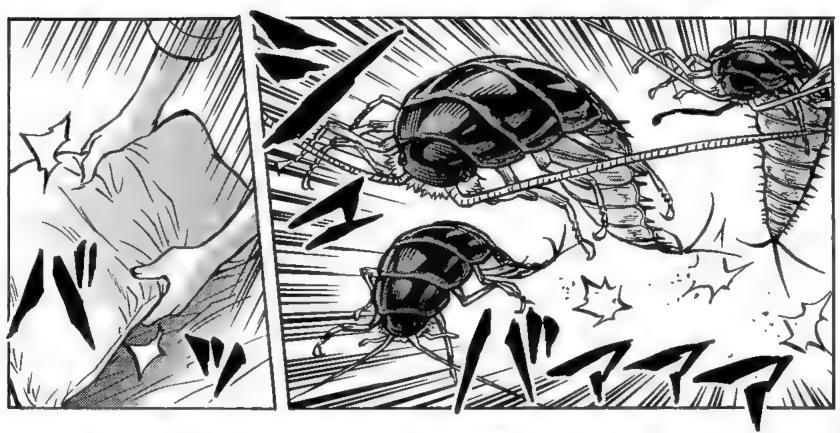






















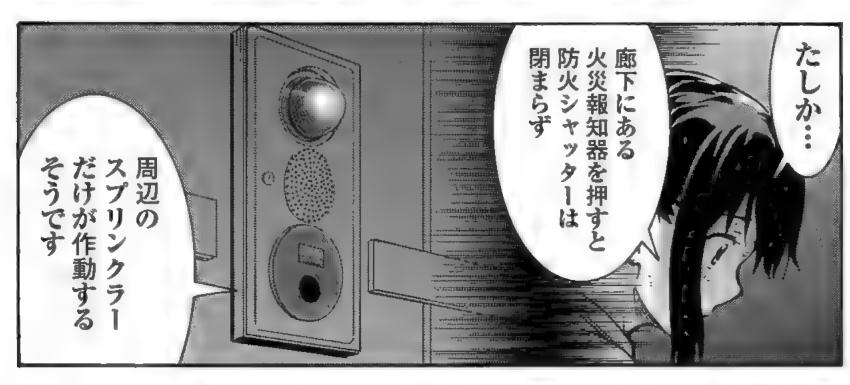


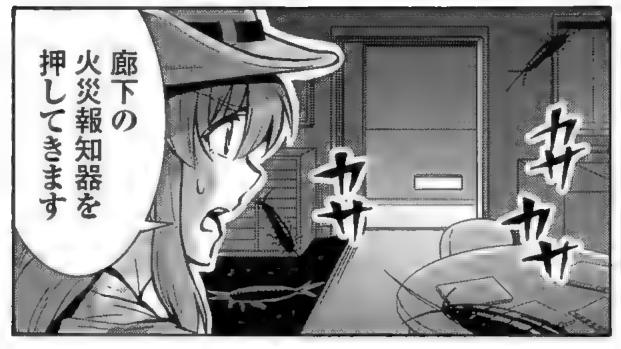












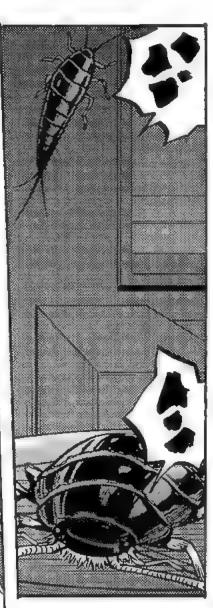














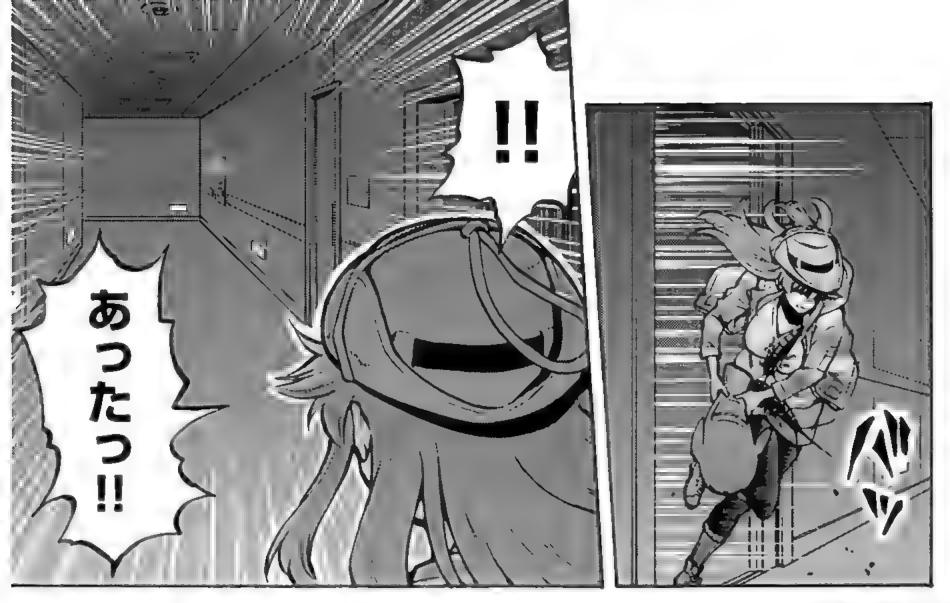
















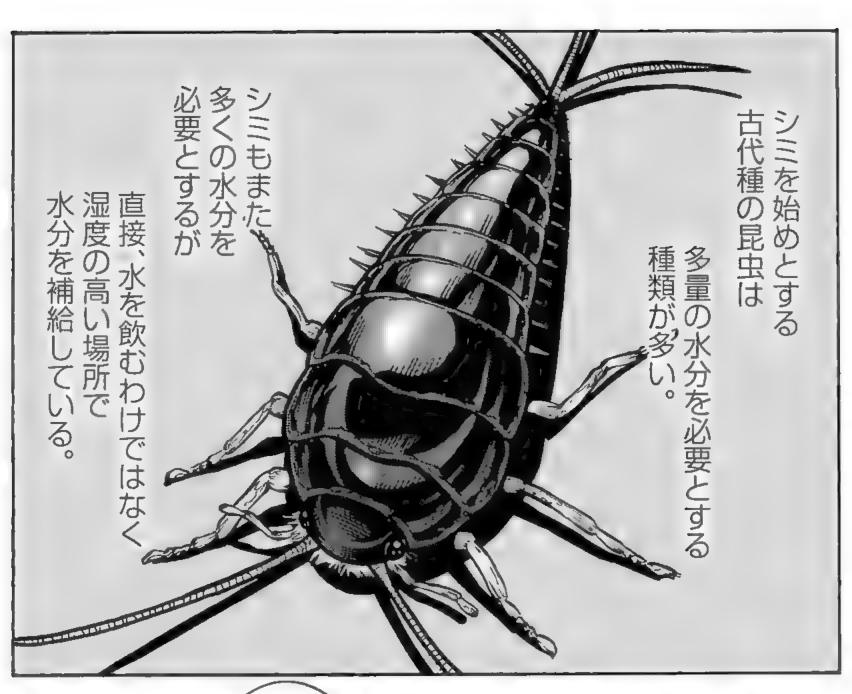






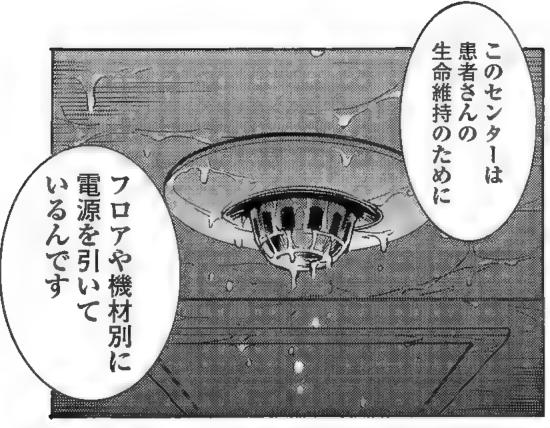














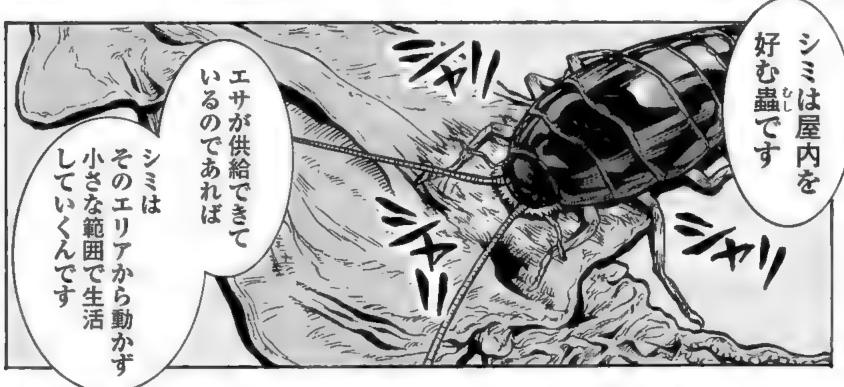




















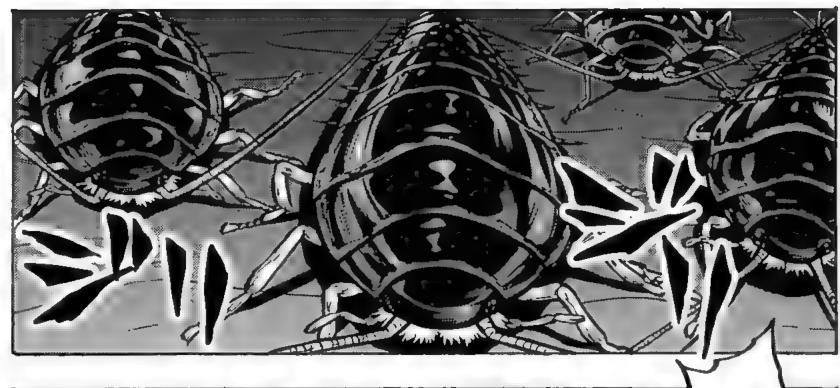


















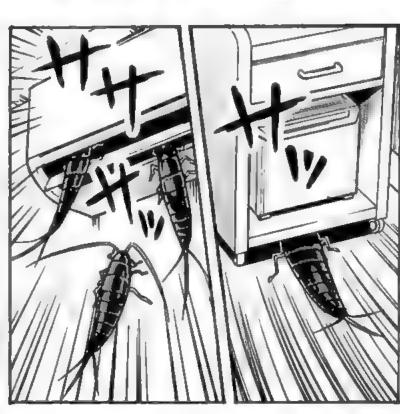




















































「大巨蟲列島」第⑦巻/完







この度は『大巨蟲列島』7巻をお買い上げ下さり、誠にありがとうございますっ!! 原作者の藤見泰高です。

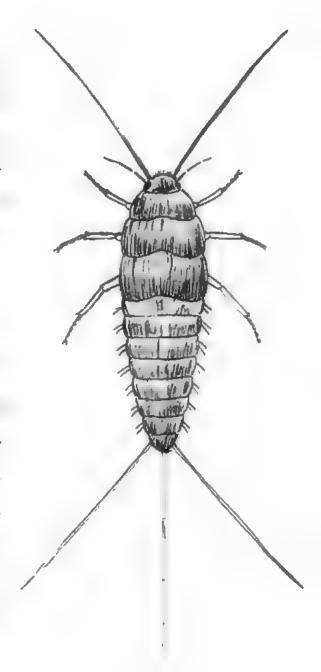
〈大巨蟲列島を楽しく読んで貰うための小話 その7〉

シミ(紙魚)

シミ目・シミ亜目・シミ科 学名:Ctenolepisma villosa (大和紙魚)

シミは樹脂化石の琥珀などに閉じ込められていることがあり、古代昆虫や化石昆虫と呼ばれることがあります。海外では"シルバーフィッシュ"と呼ばれています。海外でも魚なんですね(笑)。体を覆う銀色の鱗粉が魚のうろこに見えるから、そう呼ばれているそうです(他説有り)。

人とシミとの戦いの歴史は古く、仏教が 伝来したと言われている飛鳥時代には、す でに大切なお経を喰い荒らす害虫として認 識されていたようです。ゴキブリを始めとす る都市型害虫の走りだったのかもしれませ んね(害虫という言葉は好きではありませ んが、伝わりやすいというコトで使わせて いただきます)。僕個人の見解としては、人 が家を造り始めた頃からシミは人と共存? していたことが容易に想像できます。



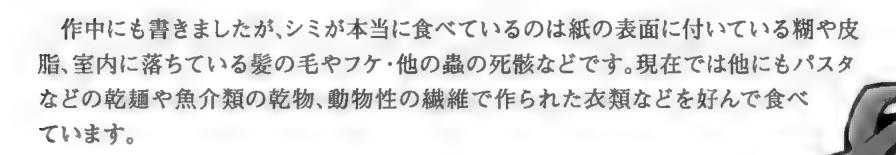
本作でも紹介しましたが、シミは多くの水を必要とする昆虫でありながら、水が苦手という矛盾した特徴を持っています。シミは水量が少しの水たまりでも溺れて死んでしまいます。名前に魚が付いているのに皮肉ですね。シミは水を直接飲むのではなく、湿度が高い場所で体全体を使い空気中に揮発している水分を吸収しています。ですが湿度が高すぎると病気になってしまい、逆に低すぎると簡単に死んでしまいます。よくこんな繊細な虫が、3億年以上前という太古から生き残ってこられたと、不思議でなりません。

このことから考えて人が造る家屋はシミにとって、まさに天国! 人の存在は恐怖の対象であるどころか、雨水から身を護ってくれて、適度な湿気と隠れ家…そして何より安定した糧を提供してくれるのです。

シミは長年、紙を食べる害虫だと思われ てきました。お寺などで保管される大切な写 本や巻物・書物の保管場所に出現したため

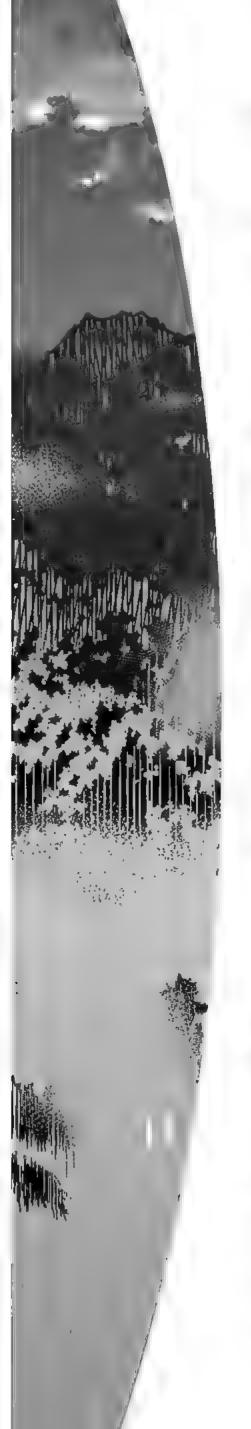
本や香物・香物の保官場所に否 に"シミは紙を食べる害虫"とし て記され、庶民の間にも知られ ていったのではないでしょう か。しかし実際に紙に穴を開け て修復不可能な食害をしてい るのはシバンムシ等の昆虫で す。シミだけが犯人にされたの

は銀色に光って目立ったからかもしれません。



人の生活と密着して生存しているシミ。人の生活が続く限り、ずっと生き残っていくことでしょう。新しく出てきた生物と上手く共存するバイタリティこそが、長い期間を生き残ってこられた秘訣なのかもしれませんね。梅雨時に数を増やしますので、押し入れなどシミが繁殖しやすい場所は、布団乾燥機などで一気に温度を上げ乾燥させるだけで数が激減します。





変わった性質を持っているシミ

僕たちが小・中学校の理科・生物で習った昆虫の定義は"体が頭部・胸部・腹部からなり、胸部・腹部には節のある脚が3対6本、2対4枚の翅をもつ生物"となります。しかしシミの仲間は、昆虫なのに羽がありません! すでに我々が知っている昆虫とはいえません。おそらくシミのような羽が無い原始昆虫が誕生した後、すぐに羽を持った昆虫が発生したためだと言われています(「すぐ」の単位は数千~数万年だと思いますが)。昆虫の多くは累代速度が速く環境適応能力も高い生物です。遠くまで移動できる羽を、そこまで急いで作らなければいけなかったとは……。あくまで想像でしかありませんが、彼らの当時の環境は相当劣悪だったのではないかと考えられます。しかし、この変化により昆虫は天空を誰よりも早く支配し、成長過程を同じ環境でしか生活出来ない無変態から、多様な場所で生活出来る完全変態までの幅広いスタイルを手に入れられたのかもしれません。

昆虫が行う変態の種類

完全変態 代表昆虫:カブトムシ・チョウなど。 不完全変態 代表昆虫:トンボ・カマキリなど。

無変態 代表昆虫:シミの仲間。

他にも、同変態・再変態・副変態・異変態・過変態・多変態・隠変態などあります。学校では習わない変態がイッパイで切りがありません(汗

無変態とは?

皆さんがよく知っている昆虫は大体、卵>幼虫>サナギ>成虫か、卵>幼虫(幼体)>成虫(成体)だと思います。多くの昆虫は成虫になった時、その成長が止まります。しかし無変態は卵から生まれて成虫になっても、エビ・カニのように脱皮を繰り返し、死ぬまで大きくなり続けていきます。しかも生まれた時から小さいというだけで成虫と同じ完成形をしています(この場合の成虫は、繁殖が出来るようになった

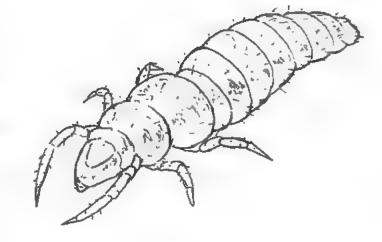


個体を指します)。日本では古来から小さな生物を総称して"蟲"と呼んでいます。"蟲" から昆虫が枝分かれしていく以前の成長方法が無変態なのです。

無変態昆虫の近縁種としてカマアシムシ、コムシ、トビムシの仲間が存在しています。僕個人の見解として、さらにシミの仲間を足した4種類の無変態生物。彼らは現在の昆虫が持つ特徴をほぼ持っていると感じます。

カマアシムシの仲間 (旧ヨシイムシ)

名前の通りに前脚をカマのように持ち上げています。カマキリみたいに捕獲用の武器としてではなく、センサーとしての役割がメイン。ですが前脚がカマ状になるタイプは既に、この時から存在していたのだと考えられます。



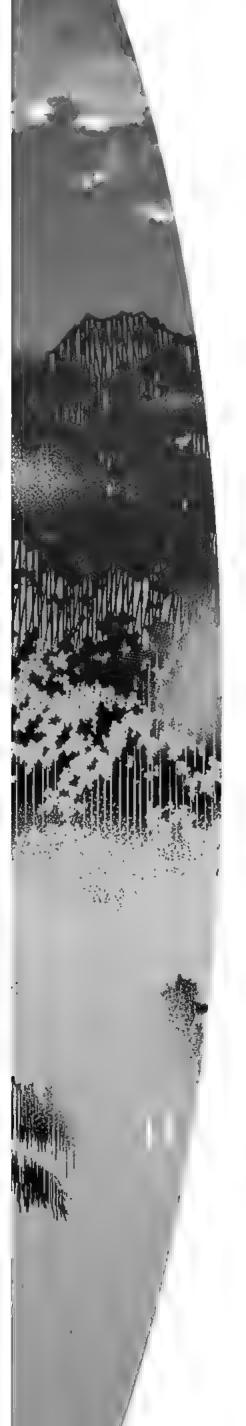
コムシの仲間

イラストは個性豊かなハサミコムシです。頭部は ムカデに酷似し、お尻にはハサミムシ同様に補食に 使用できる硬いハサミが付いています。

トビムシの仲間

クワガタやカブトムシをブリードしたことがある方は経験があると思いますが、産卵ケースや幼虫飼育瓶の中でピョンピョン飛び跳ねている小さな白い蟲がトビムシの仲間です。小さな体でバッタや

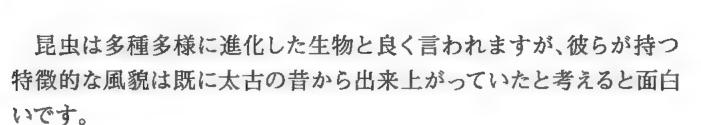
ノミのようにピョンピョ ン飛び跳ねます。



シミの仲間

羽が無いだけで蝶や蛾のように体中に鱗粉を持っています。

立派な尾角を持ち、俊敏に動き 回ります。もしかしたら大昔の彼らの 仲間がゴキブリへと姿を変えていっ たのかもしれませんね(笑



早いモノで『大巨蟲列島』も7巻目を出させていただきました。シリーズを通して最初は誰も人がいない巨蟲だけの島から始まり、住民が生き残り巨蟲達と闘っている島へと辿り着き、新たな舞台は"まだ、巨蟲の被害が出ていない島"です。この島では巨蟲が引き起こす悲劇を睦美は止めることが出来るのか!? 巨蟲誕生の秘密は!? お楽しみ下さい!!

ここまでの長編ストーリーを書かせていただけたのは、素晴らしい 作画をして下さる廣瀬周先生や根気よく僕に付き合って打ち合わせ をして下さる担当さん、そして何より応援して下さる皆様のおかげで す!!

これからも皆様に面白いと思っていただける作品作りを心がけていきますので、よろしくお願いいたします!!

協力 加藤愛奈 森のプロレス 曽良山調査隊の皆さん 陶史の森ネイチャーセンターの先生方

参考文献

『虫たちの生き残り戦略』 安富和男(著) 中公新書 『教養のための昆虫学』 平嶋義宏・広渡俊哉(編著) 東海大学出版部

『蟲愛づる人の蟲がたり』筑波大学山岳科学センター 菅平高原実験所(編)・町田龍一郎(監修) 気波大学出版会





